

第39回

美浜町民文化祭

11月2日、3日の2日間、中央公民館をメイン会場に第39回美浜町民文化祭が開催されました。

会場では、町民の皆さんのさまざまな分野の作品展示やステージ発表が行われ、訪れた大勢の人たちは家族や友人の作品や発表を鑑賞しながら「文化の秋」を堪能されていきました。



ステージ発表

公民館ステージでは、吹奏楽や合唱、舞踊や楽器演奏などさまざまな発表が行われました。



▽「オカリナサークル風音」の皆さん

作品展示

各会場では、絵画や書道、生け花のほかに、手芸や小物、文芸作品など数多くの作品が展示されました。



△弥美小学校体育館 作品展示



△中央公民館 作品展示

体験コーナー

会場には、お茶席などさまざまな体験コーナーが設けられ、たくさんの方が楽しんでいました。



△水墨画の体験コーナー

前夜祭

1日夜の前夜祭では、人業劇「ジョディと子鹿のフラッグと」が開催され、お子さんからお年寄りまで多くの方が観賞されました。





若狭路もてなし「食」 フェアin美浜2008が 開催されました！

11月8日・9日に「若狭路もてなし「食」フェアin美浜2008」が総合体育館特設会場で開催されました。

屋外に並んだテントでは、町の農林水産業をはじめとする各産業の特徴を生かした催しや、県内外からの特産品の販売などが行われました。

また、総合体育館内では、町の健康福祉に関する展示や健康チェックなどが行われ、訪れた人は食と健康福祉に関するさまざまな催しを楽しんでいました。

※健康福祉に関する催しは、24・25ページの「はあとびあ」のコーナーでお知らせしています。



△山口町長らの大根カットによりイベントがスタート！



福井へしこフェア



同日、総合体育館では「福井へしこフェア」が同時開催されました。

この催しは、福井県の特産品として全国で知名度を上げていく「へしこ」をさらに広くPRしようと呼びかけられたものです。

会場では、本町をはじめとした県内外のへしこが集まり、その特徴や食べ方等のPRのほか、試食や販売が行われました。

会場には、お目当てのへしこを探しに来た人や初めてへしこを知った人などさまざまな人が訪れ、たくさんの方が「へしこ」について関心を持たれていました。

特に「へしこの町」である本町のへしこは絶大な人気を誇り、大勢の人が美浜コーナーに集まっていました。



△美浜のコーナーは常にお客さんがいっぱい！

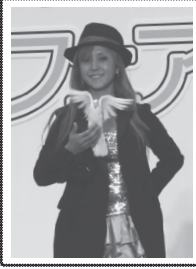
◇11月8日の主な催し

屋外ステージでは、ちびっ子たちに大人気の「ゴーオンジャーショー」やテレビでおなじみの人気お笑いコンビ「クワバタオハラ」などのお笑いステージが行われました。

また、総合体育館内では、セリ市が行われ、参加者は嶺南6市町から届いた新鮮な野菜を大きな声で競り落としていました。

その後、地域間の交流を目的

▽布の中からハトが...



△KICK☆にキック

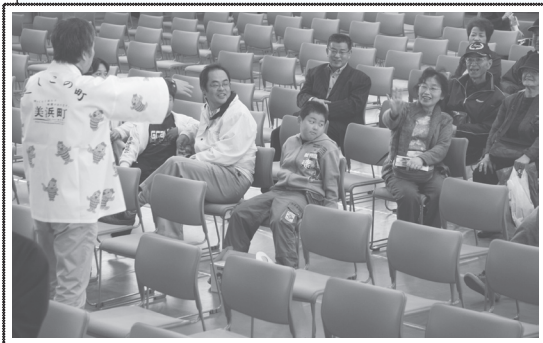


△ちびっ子たちのヒーロー「ゴーオンジャー」

に行われるダンスイベント「若狭路CALLEYOUダンスフェスティバル2008」が開催され、県内の9チームが日頃の成果を披露しました。結果、地元美浜町から参加した「MIIHAMAよさこい乱DE舞」が見事大賞に選ばれました。



△お客さんに鋭いつこみをいれるクワバタオハラ



△新鮮な野菜をセリおとす参加者

◇11月9日の主な催し

この日は、グルメリポーターの彦摩呂さんと青池睦子さん、青池学園 青池調理師専門学校 理事長によるトークイベントやアンパンマンショーなどが行われました。

トークイベントでは、嶺南6市町の特産品を用いた料理が紹介され、青池さんの説明のもと、彦摩呂さんは若狭の食を堪能していました。全品を食べた

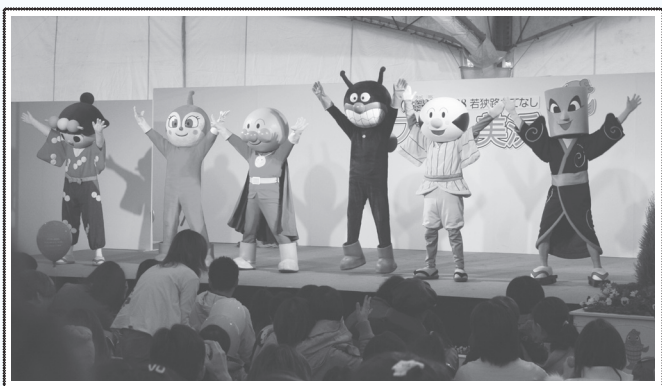


△美浜の「へしこ寿司」を食べる彦摩呂さん

後、彦摩呂さんは「どれも美味しく、また食べたい料理。若狭はグルメの宝石箱やあ〜。」と満足した様子でした。

アンパンマンショーでは、客席を大幅に超える親子が参加し、子どもたちは物語に引き込まれていました。

また、総合体育館内では第2回全国高校生食育王選手権が行われ、136(3人1組)チームが創作弁当などの実技や食育に関するクイズで総合点を競いました。結果、三重県相可高校が王座に輝きました。



△最後はみんなで「サンサンたいそう」